

夏期セミナー2024

ASUKAモデルと 小学校からの救命教育の推進

ASUKAモデルや救命教育について「もっと学びたい」
「学校・地域に広げたい」の声に応えます

日時・会場

I 講義動画視聴のみ

II 講義動画視聴 + 対面講義・協議

(会場：埼玉大学教育学部A棟3F 学校保健学実習室)

8月19日(月) 13:00 - 16:40

8月20日(火) 9:30 - 14:30

参加者

教職員・教育委員会職員等教育(保育)関係者, 教員免許等取得を目指す学生, 救命教育の普及に取り組む活動関係者等

定員・参加費

I 講義動画視聴のみ：定員なし

II 講義動画視聴 + 対面講義・協議：定員40名

申込期限7月30日(火) 延長しました

* 定員超過した場合、2日とも参加できる方を優先して抽選いたします。

参加費: I, II いずれも無料

I 講義動画視聴のみ

講義内容

1. 教職員の緊急時対応能力の向上
～『ASUKAモデル』から学ぶ～
講師：桐淵博* (元さいたま市教育長、元埼玉大学教授)
 - ① さいたま市児童死亡事故の分析と考察
 - ② 『ASUKAモデル』の本質と普遍性
 - ③ 学校における死亡事故の実態と突然死
 - ④ 市民によるBLSの重要性とJRC-G2020, 実際の救急現場で求められる行動
 - ⑤ 教職員研修・教員養成課程の現状と課題
 - ⑥ 救命教育の現状と課題, 子どもたちの活躍
 - ⑦ 救命事例の検証, 国等の取組, コンフリクト・マネジメント
2. JRCガイドライン2020市民BLS普及へのポイント AED財団の活動
講師：石見拓* (京都大学医学部)
3. 救命教育DX教材“Liv for Class”
講師：千田いずみ** (明治国際医療大学保健医療学部)

II 講義動画視聴 + 対面講義・協議

左記1-3の講義動画を事前に視聴の上ご参加ください。

対面講義・協議

- 8月19日(月)：学校事故の実態とASUKAモデルの普遍性
8月20日(火)：市民BLS普及の課題、学校の危機管理態勢の強化他

対面講義の講師(予定)

- ・ 桐淵博* (元さいたま市教育長、元埼玉大学教授)
- ・ 関由起子** (埼玉大学教育学部)
- ・ 桐田寿子*** (明日香さんのお母様、ASUKAモデル関係者)
- ・ 倉田久子 (全国柔道事故被害者の会代表)
- ・ 佐藤浩之** (東京慈恵会医科大学、NPOVNIさいたまPUSH代表)
- ・ 山下誠二** (元さいたま市立植竹中学校長)
- ・ 阿部大樹** (立川市立西砂小養護教諭)
- ・ 辻野智香 (さいたま市立高砂小養護教諭)
- ・ 水村吏香 (さいたま市立大谷小養護教諭)

*日本AED財団理事

**日本AED財団減らせ突然死プロジェクト実行委員

***日本AED財団メッセンジャー

主催：科学研究費助成事業 基盤研究B

「『チーム学校』による心身緊急時等対応体制構築のための教育プログラム開発と情報支援」
公益財団法人日本AED財団

申し込みフォーム：下記のURLあるいはQRコードを読み込み、申込してください。

<https://forms.gle/2353K23q6ne29p5Z7>

問い合わせ： yseki@mail.saitama-u.ac.jp 関由起子 までご連絡ください。

